

定時評議員会議事録

1. 開催 日時 令和5年6月14日(水) 午前11時～午前11時30分
2. 開催 場所 静岡 新聞放送会館 10階会議室
3. 評議員の総数 7名
4. 出席した評議員数 5名
内訳 大須賀 紳晃(議長)
河野 誠・杉田 豊・鍋倉 伸子・白井 嘉尚
出席した理事数 1名
内訳 原 尚弘
出席した監事数 1名
内訳 望月 利洋
5. 議事録作成者 業務執行理事 原 尚弘
6. 議長選任の経過
定刻、事務局より定款に議長選出の規定がない為、当会の議長として大須賀紳晃評議員を議長候補とする旨を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、大須賀紳晃を議長に選出。議長は、当評議員会は評議員過半数の出席により、決議に必要な定款第18条第1項の定足数を満たしており本評議員会は適法に成立した旨を述べた。
続いて議長は定款第19条第2項の規定により議長と、選出した評議員のうち1名が議事録署名人となる旨を述べ、河野誠評議員を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、河野誠評議員を議事録署名人に選出の後、議案の審議に入った。また、本日の評議員会には業務執行理事の原 尚弘、監事望月利洋が同席した。
7. 議事の経過及び議案別議決の結果
第1号議案 令和4(2022)年度事業報告書並びに収支計算書及び貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等案承認の件
議長は本件を上程し、議案の説明を業務執行理事原 尚弘(以下、事務局という)に求めた。事務局は令和4(2022)年度事業報告書を説明した後、収支計算書及び貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等を一括朗読し詳細な説明を行った。議長は次に監事の監査結果の報告を求めた。監事望月利洋が5月12日に事務局立ち合いのもと業務及び会計監査を実施し、監査報告書にある監査意見の内容のとおりであると報告した。
議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたが、特に発言者がなく、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決確定した。

第2号議案 評議員、理事、監事任期満了による改選の件

議長は評議員の全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要がある旨を述べ、定款に定める手続きに基づいて作成されたその選任候補者リスト「役員一覧(案)」を提示し諮ったところ、満場異議なくこれに賛成したので、下記の通り選任することに可決確定した。

(重任) 大須賀紳晃、河野誠、杉田 豊、小和田哲男、白井嘉尚、鍋倉信子
(就任) 高橋智子

続いて議長は、理事及び監事の全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要がある旨を述べ、5月29日開催の理事会で上申のあった選任候補者リスト「役員一覧(案)」を提示し諮ったところ、満場異議なくこれに賛成したので、下記の通り選任することに可決確定した。

(理事・重任) 大石剛、鈴木善彦、小野田全宏、山城厚生、松井妙子
(理事・就任) 姫岡恭彦、小泉祐子
(監事・重任) 望月利洋

8. 報告事項

議長は、報告事項について事務局に説明を求めた。事務局は別紙に記載の通り代表理事及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。議長がこの報告を議場にはかったところ、全員異議なくこれを承認した。

議長は以上をもって本日の評議員会の議案の審議及び報告は全て終了したことを告げて閉会を宣した。時に午前11時30分であった。上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするために、議事録署名人において、次に記名押印する。

令和5年6月14日

公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団 定時評議員会

議長 大須賀 紳晃



議事録署名人 河野 誠

